

# ばってん-うーまん

A A T T E N = W O M A N

89年 11月 NO. 109

事務局

津田 尚美方

編集

大城 直子

抗議します！

元年 12 18 歳

国立婦人教育会館

●応募資格/佐世保市内に1年以上居住し、満18歳～25歳までの未婚の女性（ただし社交界の女性・高校生は除く）

●応募方法/最近6ヶ月以内の写真（上半身と全身の各1枚）の裏面または別紙に本人の住所、氏名、年齢、職業、身長、体重、バスト、ウエスト、ヒップ、最終学歴、趣味、両親の氏名、年齢、職業、電話番号、推薦者の住所、氏名、電話番号を記入、郵送可。

●申込先/長崎新聞佐世保支社ミス佐世保  
〒857 佐世保市浜田町2の28  
☎22-2181代

●申込締切/平成元年10月17日（火）

●賞/賞金=ミス佐世保（3人）各20万円、副賞=大トロフィー、後援団体賞、協賛商社賞（親和銀行賞、佐世保王屋賞、高島真珠賞、全日空賞、四ヶ町商店街賞、ケンプラザ賞）

●推薦者賞/ミス佐世保（3人）各2万円、ほか記念品

●審査/一次（写真）=10月18日（水）・二次（面接）=10月21日（土）\*ともに非公開

●主催

長崎新聞社・佐世保観光協会

●後援/長崎県・佐世保市・佐世保商工会議所・佐世保青年会議所  
市民参加おくんちさせば祭り実行委員会

10月3日付の長崎新聞に掲載された「ミスさせば」コンテスト募集広告の中にある応募資格、その選考について抗議します。

1. 両親の職業が選考基準になっていることの  
問題点。

(1)「ミスさせば」になる女性を親にたよっているものと考え、1人の自立した人間とみていないこと。

(2)「片親の子」を差別していること。

(3)親の職業がどういう職業であれば選考に通るのか明らかにされず、職業観に偏見が感じられること。

2. 「社交界の女性」ははずされていること  
社交界の女性を見下げ、その職業に対して偏見をもたせていること。

以上のように「ミスさせば」コンテストは女性差別、片親差別、を包含しているもので大変な人権無視の問題を含んでいると思います。

今国が率先してとりくむべき課題であるにもかかわらず自らが差別蔑視をさらけ出していることがわからないのでしょうか。

「ミスコンテスト」で女性の品定めすることそのものが旧態依然とした男意識まっだしのもので恥すべき催しです、「ばってん・うーまんの会」は再び抗議します。

1989年11月11日

「ばってん・うーまんの会」一同

↑上のような抗議文を、長崎新聞社、佐世保観光協会などに送付しました。



福岡市内の出版社に勤めていた原告A子さんが、「性についての悪評を職場などにふりまかれ、基本的人権を侵害され、退職にまで追いこまれたのは、労働権の侵害だ」として、会社と上司の編集長を相手どり、慰謝料を請求する裁判を起しました。

A子さんの受けたいやがらせも個人的な問題として片づけず、職場で、さまざまな性的いやがらせも受け続けてきた女性たちの、共通の問題として、世に問うというこの裁判は、「セクシマル・ハラスメント、NO!」の声を、社会的に大きく高め、ためにも、とても重要な意義があると思った。

この裁判のために、各地の女子のゲル+70が、ネットワークを作りつつあるのも、ワクワクする。

——というわけで、11月16日に福岡地裁で開かれた第一回口頭弁論を傍聴した。

要請。「どうしてこれまで、セフ  
ニエルハウズメントを問う訴えが

たかっ たのか。これは、被害がな  
かっ たからではない。被害はあつた。レイプ裁判に見られる  
ように、被害者は裁判によつて、さらに深く傷つけられた。  
裁判が、『救済』ではなく『被害の拡大』の効果をあげてい  
たから、訴えることができなかっただけだ。この裁判では、原  
告の人格をこれ以上傷つけることのないよう、配慮してもら  
いたい。タメ息が出るほど、女の思いを言い得ている。

次に原告の「事件の経過と、いかにひどい被害を受けたか」についての意見陳述。実に堂々と胸をはり、りんとした声で訴えかけた。「闘志」すら感じた。傍聴人の間から、「感動的だった」との声が、多く聞かれた。続いては、角田 裕夏士から、原告の訴えの法的な根拠について、セウシャルハラスメントの概念の定着しているアメリカの例を交えての、陳述。満杯に詰めかけた傍聴人に、関心の高さを感じさせられた。(大城)

裁判と  
 接点  
 社会の中にあり  
 性差別は社会の中にあり  
 かねています。この裁判と  
 私たちの裁判組んでいるとは、  
 根子は同じです。身近かなも  
 ので、ヤナメはヤと声と上げ  
 ていう、それも裁判を支える  
 ひとつの力になるのでは？

裁判係職記 \*

『市教女』  
「慣習だから」といひながら、「男婦別名簿」を改めず。

右に掲げた新聞記事のとおり、長崎市内の父母と教師たちが、名簿を男女混合に改めよう、教育委員会に求めました。

くわしい様子を、参加したばうてん  
うーまんの池田玲子さんから、うかが  
いました。(まひめ/大城)

名簿問題は、「障害児の進路保障」  
「学童保育の充実」などを盛りこんだ  
10項目の要望の中の、四番目でし  
た。

私たちの求めに対し、教育長は、「慣習だから、ご理解を。」と答えましたが、これにはさすがに、同行の父母から、不満のどよめきが起りました。

そこで、私は、ばち、と反論したいからネ。

市、県の婦人は第室の活動には敬意を表する。毎回、婦人は第室主催の「婦人の集い」には、参加してい

なが、何回出てみても、空しい。教育現場では、明治以来変わる  
ことなく、男女別教育がなされ続けている。「名簿」もその一つ。

男女別名簿は  
①女子差別撤廃条約第10条1項(固定化された男女の役割分  
担の撤廃)に違反している。

②「国際化」とうたいながら、男女共働が社会へ動いている国  
際的な潮流に、逆行している。  
加えて、

③「差別をなくす」とは、即ち「(差別的な)慣習を徹底する」ことである。「慣習だから～」では、話にならない ~~~~~

最後になって、私が参考した堺市の男女混合不審実施の資料を読んでいた立岡学校教育課長は、「こういうやり方もあるんだ」と思いました」と感想を洩らしていましたよ。（玲子さん談）

\*\*\*ともあれ、池田さん、お疲れ様でした。放育毒はもと免が強い。\*

11/21  
母と女教師の会が長崎市に要請

長崎市母と女教師の会の中村  
カネコ会長らが二十日、長崎市  
役所で本島市長、黒岩教育長ら  
と面会し、「学校での名簿が男子  
が先で女子が後となっているの  
は男女差別で、男女混合名簿に  
改めてほしい」と要請した。教  
育長は「長い間の慣習になつて  
おり、利便性の問題もある」と  
だけ答えた。

この問題では、大阪府堺市が  
来春から、出席簿を男女混合の  
五十首題に改めることをきつか  
けに全国的に論議が高まってい

る。会側は、こうした慣習は、  
 国連が提議し日本が四年前に批  
 准した女子差別撤廃条約に反す  
 ると指摘。男女差別であり、社  
 会への男女共同参加を阻む、な  
 どとして改めるよう求めた。

市教委側は、男女混合名簿は  
 (男女別を実施する) 身体検査  
 の結果を転記する際、混乱のも  
 とになる。具体的な対応は考え  
 ていない」と答えた。



# 事務局だより

◎ばってんうーまんどは、月一回例回を行なっています。

私たちが目標としている、男女平等社会の実現に向けて、会合を繰り返している、といえど、こよいけど、

日常生活の中で、ふと感じたコトも、「？」のついたまま出し合ひ、根子をとぐると、見えてきたものは——？

感覚的に「おかしい」と思っても、言葉として表現できずにのみこんでしまった直観めいたものを、もう一度、探ってみると——？

ワイワイがヤガヤ言いながら「例会」の夜は更けてゆく……

◎11月12日、津田、野口が、セクニヤルというスメント裁判の前段集会に参加、16日は傍聴に、野口、大城が、参加しました。

◎「夫々別姓はどうか？」

(福島瑞穂著)の本が、ばってんうーまん宛に届きました。夫婦別姓についての意見も、募集します。

◎会費、再検討します。それから報道に際して、ヤユしたニュースのある記事は、持ちよりましょう。

◎「ばってんうーまん文庫」に補充(3回目)する本をリストアップする時期になりました。希望する本などお知らせ下さい。



郵便物認可) 11/15 西日本

## 封筒にミスの笑顔

中身は税務署の資料

早 諫

街頭で手渡されたオレンジ色の封筒いっぱい、三人のは、平野達一署長まで。「封筒にミスがにっこり、税の文に税務署の字が入っている字は一字もなし、大胆なデザイン、この封筒、堅いことで、読んでも読まないうるから」と、知恵を絞った。は定評がある税務署がつく、似顔絵をかいたのは、諫早たものと知って、もった人、市湯野尾町のイラストレータは二度びっくり、諫早税務署、池田雅信さん、諫早が、「税を知る通聞」(十一、青年会議所が発行した歴史漫日一七日)の広報資料配付画「眼鏡橋」や「諫早一揆」



ミス3人の似顔絵入り封筒

での腕前を見込んで依頼。ミス早の野美和さん(ニミ)代子さん(ニミ)の三人の特徴をミスつじの立花泰子さんうまく出している。

これまたあきれた事に、「ミス」が、税務署宣伝用封筒の、「デザイン、キャラクター」として登場。(上掲の新聞記事)や、やはり、「ミス」=「女性」のモノ化」だった。女性の、宣伝に利用する。ミッキーマウスやスヌーピーと同じ、マスコット化、キャラクター化はやめろ。